



## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **10164345 A**(43) Date of publication of application: **19 . 06 . 98**

(51) Int. Cl.

**H04N 1/32**  
**H04L 12/46**  
**H04L 12/28**  
**H04L 12/54**  
**H04L 12/58**  
**H04M 11/00**  
**H04N 1/00**

(21) Application number: **08339036**(22) Date of filing: **04 . 12 . 96**(71) Applicant: **RICOH CO LTD**(72) Inventor: **SHIBATA HIROSHI**(54) **FACSIMILE EQUIPMENT**

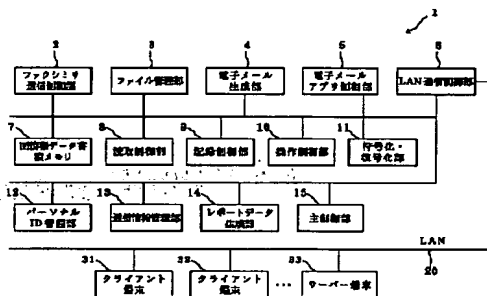
6 and the electronic mail application control part 5.

(57) Abstract:

COPYRIGHT: (C)1998,JPO

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To provide a facsimile equipment which properly manages communication management information of the facsimile equipment connected to a communication line such as a LAN.

**SOLUTION:** Facsimile equipment 1 acquires an electronic mail address corresponding to a personal ID inputted by transmission operation of an operation display part from a personal ID management part 12, acquires an opposite electronic mail address by receiving a transmission request through the electronic mail including a transmission file from terminals 31 to 33 connected to a LAN 20 through a LAN communication control part 6 and an electronic mail application control part 5 and registers to a file management table of a file management part 3. A main control part 15 encodes the transmission file to store to an image information data storage memory 7, a facsimile communication control part 2 transmits facsimile and registers communication management information to the file management part 3. An electronic mail preparation part 4 prepares a reservation report and a transmission result report to transmits an electronic mail to the electronic mail address acquired via the LAN communication control part



**THIS PAGE BLANK (USPTO)**

(19) 日本国特許庁 (JP)

## (12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平 10 - 164345

(43) 公開日 平成10年(1998)6月19日

(51) Int. Cl. <sup>6</sup>	識別記号	F I		
H 0 4 N	1/32	H 0 4 N	1/32	Z
H 0 4 L	12/46	H 0 4 M	11/00	3 0 3
	12/28	H 0 4 N	1/00	1 0 6 Z
	12/54	H 0 4 L	11/00	3 1 0 C
	12/58		11/20	1 0 1 B
	審査請求 未請求 請求項の数 5	F D		(全 14 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願平8-339036

(22) 出願日 平成8年(1996)12月4日

(71) 出願人 000006747

株式会社リコー

東京都大田区中馬込1丁目3番6号

(72) 発明者 柴田 博

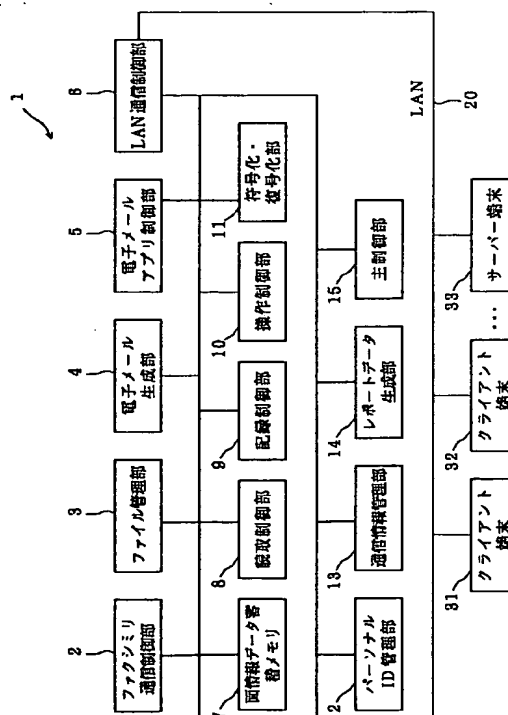
東京都大田区中馬込1丁目3番6号 株式会社リコー内

(54) 【発明の名称】 ファクシミリ装置

(57) 【要約】

【課題】本発明はLAN等の通信回線に接続されたファクシミリ装置の通信管理情報を適切に管理するファクシミリ装置を提供する。

【解決手段】ファクシミリ装置1は、操作表示部の送信操作により入力されたパーソナルIDに対応する電子メールアドレスをパーソナルID管理部12から取得し、また、LAN通信制御部6及び電子メールアプリ制御部5によりLAN20に接続された端末31～33から送信ファイルを含んだ電子メールによる送信依頼を受付けて相手電子メールアドレスを取得し、ファイル管理部3のファイル管理テーブルに登録する。主制御部15は送信ファイルを符号化して画情報データ蓄積メモリ7に蓄積させ、ファクシミリ通信制御部2でファクシミリ送信し、ファイル管理部3に通信管理情報を登録する。電子メール作成部4で予約レポート及び送信結果レポートを作成して電子メールアプリ制御部5及びLAN通信制御部6を介して取得した電子メールアドレスに電子メール送信する。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】所定の通信回線を介して所定のファクシミリ通信手順によりファクシミリ通信を行うファクシミリ装置において、前記ファクシミリ装置を前記通信回線と異なる他の所定の通信回線に接続する通信制御手段と、前記通信制御手段を介して前記他の通信回線に接続された電子装置との間で電子メールを交換する電子メール通信手段と、少なくとも送信ファイルの送信予約及び送信ファイルの送信結果等に関する通信管理情報を記憶する通信管理情報記憶手段と、前記通信管理情報記憶手段の前記通信管理情報に基づいて少なくとも送信予約レポート情報及び送信結果レポート情報を作成するレポート作成手段と、送信操作時に送信操作に必要な各種命令を入力操作する操作手段と、送信依頼が前記操作手段から行われると、当該操作手段から入力された電子メールアドレスを取得し、当該送信依頼された送信ファイルに関する前記送信予約管理情報及び送信結果管理情報を前記通信管理情報記憶手段に記憶させ、当該送信予約管理情報及び送信結果管理情報に基づいて前記レポート作成手段に前記送信予約レポート情報及び送信結果レポート情報を作成させて、当該送信予約レポート情報及び送信結果レポート情報を前記取得した電子メールアドレスに前記電子メール通信手段に電子メールにより送信させる制御手段と、を備えたことを特徴とするファクシミリ装置。

【請求項2】前記ファクシミリ装置は、前記ファクシミリ装置の利用者毎に割り当てられたパーソナルコードと電子メールアドレスを対応させて記憶するパーソナル情報記憶手段を、さらに備え、前記制御手段は、送信依頼が前記操作手段から行われ、前記操作手段から前記パーソナルコードが入力指定されると、当該入力指定された前記パーソナルコードに基づいて前記パーソナル情報記憶手段から前記電子メールアドレスを取得し、前記レポート作成手段の作成した前記送信予約レポート情報及び送信結果レポート情報を前記取得した電子メールアドレスに前記電子メール通信手段に電子メールにより送信させることを特徴とする請求項1記載のファクシミリ装置。

【請求項3】前記電子メール通信手段は、前記通信制御手段を介して送信ファイルを含んだ電子メールによる送信依頼要求を受け付け、前記制御手段は、前記電子メール通信手段が前記電子メールによる送信依頼要求を受け付けると、前記電子メール通信手段に当該電子メールの送信元の電子メールアドレスを取得させ、前記電子メール通信手段に前記レポート作成手段の作成した前記送信予約レポート情報及び送信結果レポート情報を前記取得した電子メールアドレスに電子メールにより送信させることを特徴とする請求項1または請求項2記載のファクシミリ装置。

【請求項4】前記ファクシミリ装置は、予め設定された特定の電子メールアドレスを記憶するパーソナル情報記

憶手段を、さらに備え、前記レポート作成手段は、複数の送信予約あるいは複数の送信結果等を含む通信管理レポート等の不特定相手に関するレポート情報を作成し、前記制御手段は、前記レポート作成手段の作成した前記通信管理レポート等の不特定相手に関する前記レポート情報を、前記パーソナル情報記憶手段の前記特定の電子メールアドレスに前記電子メール通信手段に電子メールにより送信させることを特徴とする請求項1から請求項3のいずれかに記載のファクシミリ装置。

10 【請求項5】前記ファクシミリ装置は、予め設定された特定の電子メールアドレスを記憶するパーソナル情報記憶手段と、少なくとも各種レポートを記録紙に記録出力する記録手段と、をさらに備え、前記電子メール通信手段は、前記通信制御手段を介して送信ファイルを含んだ電子メールによる送信依頼要求を受け付け、前記レポート作成手段は、複数の送信予約あるいは複数の送信結果等を含む通信管理レポート等の不特定相手に関するレポート情報を作成するとともに、前記電子メール通信手段により前記送信依頼を前記電子メールにより受け付けた場合には、当該送信依頼元の前記電子メールアドレスをも組み込んで前記レポート情報を作成し、前記制御手段は、前記レポート作成手段の作成した前記通信管理レポート等の不特定相手に対するレポート情報を、前記電子メール通信手段に前記パーソナル情報記憶手段の前記特定の電子メールアドレスに電子メールにより送信させ、あるいは、前記記録手段により記録出力させることを特徴とする請求項1から請求項4のいずれかに記載のファクシミリ装置。

## 【発明の詳細な説明】

30 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、ファクシミリ装置に関し、詳細には、LAN等の通信回線に接続されたファクシミリ装置の通信管理情報を適切に管理するファクシミリ装置に関する。

【0002】

【従来の技術】従来、ファクシミリ装置は、一般に、原稿の画像を読み取る読取部、相手ファクシミリ装置との間でファクシミリ制御信号と画像データ（送信ファイル）をファクシミリ通信する送受信部、受信した画像データを記録紙に記録出力する記録部及び各種動作の指示操作を行う操作部等を備え、1つの独立した機器として機能していた。

50 【0003】また、近時、一般公衆回線に接続されるとともに、LAN (Local Area Network) 等の通信回線に接続されたファクシミリ装置が出現しており、このようなファクシミリ装置においては、従来、一般公衆回線からファクシミリ受信を受けると、個人識別番号の送信要求を該電話回線に出力し、該個人識別番号を受信すると、電子メール発信装置が保持する電子メール用アドレスを宛先として電子メールの送信を行うファクシミリサ

一バが提案されている（特開平 3-289756 号公報参照）。この従来のファクシミリサーバによれば、ファクシミリ装置の受信画像データが自動的に LAN に接続される。

#### 【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、このような従来のファクシミリ装置にあっては、その通信管理情報、すなわち、送信ファイル及び待機ファイル等の各種通信ファイルの予約結果や送信結果等の通信管理情報は、ファクシミリ装置のメモリ内に順次記憶され、必要に応じて、ファクシミリ装置の表示部に予約情報や送信結果情報として表示させたり、記録紙に記録出力するようになっていたため、ファクシミリ装置のオペレータは、ファクシミリ装置のところまで出かけて、これらのレポート出力をファクシミリ装置に行わせて、このように表示部に表示出力されたり、記録紙に記録出力される通信管理情報である通信管理レポートや送信結果レポート等を参照して、通信結果の確認を行い、通信エラーの発生した送信先への再送信操作等を行う必要があり、ファクシミリ装置の利用性が悪いとともに、レポートを紛失しやすいという問題があった。また、これらのレポートは、通常記録紙にプリントアウトされるため、その際に、用紙やトナー等の資源が使用されるという問題があった。

【0005】そこで、請求項 1 記載の発明は、送信依頼が行われると、入力された電子メールアドレスを取得し、送信予約レポート情報及び送信結果レポート情報を作成すると、当該送信予約レポート情報及び送信結果レポート情報を取得した電子メールアドレスに電子メールにより送信することにより、送信依頼を行った送信原稿が、適切に受け付けられたのか、また、適切に送信されたかを電子メールで送信されてくる送信予約レポートや送信結果レポートにより確認することができるようにして、わざわざファクシミリ装置のところまで確認しに行く必要がなく、記録紙に記録されたレポートを紛失するおそれもなく、資源を節約しつつ、利用性の良好なファクシミリ装置を提供することを目的としている。

【0006】請求項 2 記載の発明は、ファクシミリ装置の利用者毎に割り当てられたパーソナルコードと電子メールアドレスを対応させて記憶し、送信依頼時に当該パーソナルコードが入力指定されると、当該入力指定されたパーソナルコードに基づいて電子メールアドレスを取得し、当該取得した電子メールアドレスに送信予約レポート情報及び送信結果レポート情報を電子メールにより送信することにより、送信依頼時の電子メールアドレスの入力操作を簡単なものとするとともに、送信依頼を行った送信原稿が、適切に受け付けられたのか、また、適切に送信されたかを電子メールで送信されてくる送信予約レポートや送信結果レポートにより確認することができるようにして、わざわざファクシミリ装置のところま

で確認しに行く必要がなく、記録紙に記録されたレポートを紛失するおそれもなく、資源を節約しつつ、より一層利用性の良好なファクシミリ装置を提供することを目的としている。

【0007】請求項 3 記載の発明は、送信ファイルを含んだ電子メールによる送信依頼要求を受け付け、電子メールによる送信依頼要求を受け付けると、当該電子メールの送信元の電子メールアドレスを取得し、当該取得した電子メールアドレスに送信予約レポート情報及び送信結果レポート情報を電子メールにより送信することにより、電子メールによるファクシミリ送信依頼を可能とするとともに、送信予約レポート及び送信結果レポートを当該送信依頼元の電子メールアドレスに電子メールにより送信し、ファクシミリ装置の設置されている場所まで出向くことなく、電子メールにより送信依頼や当該送信依頼の受付状況及び送信結果を確認することができるようにして、記録紙に記録されたレポートを紛失するおそれもなく、資源を節約しつつ、より一層ファクシミリ装置の利用性を向上させることのできるファクシミリ装置を提供することを目的としている。

【0008】請求項 4 記載の発明は、複数の送信予約あるいは複数の送信結果等を含む通信管理レポート等の不特定相手に関するレポート情報を、予め設定された特定の電子メールアドレスに電子メールにより送信することにより、不特定相手に関するレポート情報を電子メールを利用する通信回線の管理者等の特定の電子メールアドレスに電子メールにより送信し、ファクシミリ装置及びファクシミリ装置の接続された通信回線の管理を効率的に行うことのできるファクシミリ装置を提供することを目的としている。

【0009】請求項 5 記載の発明は、送信ファイルを含んだ電子メールによる送信依頼要求を受け付けた場合には、複数の送信予約あるいは複数の送信結果等を記録する通信管理レポート等の不特定相手に関するレポート情報に、当該送信依頼元の電子メールアドレスをも組み込んでレポート情報を作成し、作成したレポート情報を、予め設定された特定の電子メールアドレスに電子メールにより送信し、あるいは、記録紙に記録出力することにより、電子メールにより送信依頼されたものであるかどうかをレポート情報により確認できるようにして、より一層適切に、かつ、効率的に管理を行うことのできるファクシミリ装置を提供することを目的としている。

#### 【0010】

【課題を解決するための手段】請求項 1 記載の発明のファクシミリ装置は、所定の通信回線を介して所定のファクシミリ通信手順によりファクシミリ通信を行うファクシミリ装置において、前記ファクシミリ装置を前記通信回線と異なる他の所定の通信回線に接続する通信制御手段と、前記通信制御手段を介して前記他の通信回線に接続された電子装置との間で電子メールを交換する電子メ

ール通信手段と、少なくとも送信ファイルの送信予約及び送信ファイルの送信結果等に関する通信管理情報を記憶する通信管理情報記憶手段と、前記通信管理情報記憶手段の前記通信管理情報に基づいて少なくとも送信予約レポート情報及び送信結果レポート情報を作成するレポート作成手段と、送信操作時に送信操作に必要な各種命令を入力操作する操作手段と、送信依頼が前記操作手段から行われると、当該操作手段から入力された電子メールアドレスを取得し、当該送信依頼された送信ファイルに関する前記送信予約管理情報及び送信結果管理情報を前記通信管理情報記憶手段に記憶させ、当該送信予約管理情報及び送信結果管理情報に基づいて前記レポート作成手段に前記送信予約レポート情報及び送信結果レポート情報を作成させて、当該送信予約レポート情報及び送信結果レポート情報を前記取得した電子メールアドレスに前記電子メール通信手段に電子メールにより送信させる制御手段と、を備えることにより、上記目的を達成している。

【0011】上記構成によれば、送信依頼が行われると、入力された電子メールアドレスを取得し、送信予約レポート情報及び送信結果レポート情報を作成すると、当該送信予約レポート情報及び送信結果レポート情報を取得した電子メールアドレスに電子メールにより送信するので、送信依頼を行った送信原稿が、適切に受け付けられたのか、また、適切に送信されたかを電子メールで送信されてくる送信予約レポートや送信結果レポートにより確認することができ、わざわざファクシミリ装置のところまで確認しに行く必要がなく、記録紙に記録されたレポートを紛失するおそれもなく、資源を節約しつつ、ファクシミリ装置の利用性を向上させることができる。

【0012】この場合、例えば、請求項2に記載するように、前記ファクシミリ装置は、前記ファクシミリ装置の利用者毎に割り当てられたパーソナルコードと電子メールアドレスを対応させて記憶するパーソナル情報記憶手段を、さらに備え、前記制御手段は、送信依頼が前記操作手段から行われ、前記操作手段から前記パーソナルコードが入力指定されると、当該入力指定された前記パーソナルコードに基づいて前記パーソナル情報記憶手段から前記電子メールアドレスを取得し、前記レポート作成手段の作成した前記送信予約レポート情報及び送信結果レポート情報を前記取得した電子メールアドレスに前記電子メール通信手段に電子メールにより送信させるものであってもよい。

【0013】上記構成によれば、ファクシミリ装置の利用者毎に割り当てられたパーソナルコードと電子メールアドレスを対応させて記憶し、送信依頼時に当該パーソナルコードが入力指定されると、当該入力指定されたパーソナルコードに基づいて電子メールアドレスを取得し、当該取得した電子メールアドレスに送信予約レポ

ート情報及び送信結果レポート情報を電子メールにより送信するので、送信依頼時の電子メールアドレスの入力操作を簡単なものとすることができるとともに、送信依頼を行った送信原稿が、適切に受け付けられたのか、また、適切に送信されたかを電子メールで送信されてくる送信予約レポートや送信結果レポートにより確認することができ、わざわざファクシミリ装置のところまで確認しに行く必要がなく、記録紙に記録されたレポートを紛失するおそれもなく、資源を節約しつつ、ファクシミリ装置の利用性をより一層向上させることができる。

【0014】また、例えば、請求項3に記載するように、前記電子メール通信手段は、前記通信制御手段を介して送信ファイルを含んだ電子メールによる送信依頼要求を受け付け、前記制御手段は、前記電子メール通信手段が前記電子メールによる送信依頼要求を受け付けると、前記電子メール通信手段に当該電子メールの送信元の電子メールアドレスを取得させ、前記電子メール通信手段に前記レポート作成手段の作成した前記送信予約レポート情報及び送信結果レポート情報を前記取得した電子メールアドレスに電子メールにより送信させてもよい。

【0015】上記構成によれば、送信ファイルを含んだ電子メールによる送信依頼要求を受け付け、電子メールによる送信依頼要求を受け付けると、当該電子メールの送信元の電子メールアドレスを取得し、当該取得した電子メールアドレスに送信予約レポート情報及び送信結果レポート情報を電子メールにより送信するので、電子メールによるファクシミリ送信依頼を可能とするとともに、送信予約レポート及び送信結果レポートを当該送信依頼元の電子メールアドレスに電子メールにより送信し、ファクシミリ装置の設置されている場所まで出向くことなく、電子メールにより送信依頼や当該送信依頼の受付状況及び送信結果を確認することができ、記録紙に記録されたレポートを紛失するおそれもなく、資源を節約しつつ、ファクシミリ装置の利用性をより一層向上させることができる。

【0016】さらに、例えば、請求項4に記載するように、前記ファクシミリ装置は、予め設定された特定の電子メールアドレスを記憶するパーソナル情報記憶手段を、さらに備え、前記レポート作成手段は、複数の送信予約あるいは複数の送信結果等を含む通信管理レポート等の不特定相手に関するレポート情報を作成し、前記制御手段は、前記レポート作成手段の作成した前記通信管理レポート等の不特定相手に関する前記レポート情報を、前記パーソナル情報記憶手段の前記特定の電子メールアドレスに前記電子メール通信手段に電子メールにより送信させるものであってもよい。

【0017】上記構成によれば、複数の送信予約あるいは複数の送信結果等を含む通信管理レポート等の不特定相手に関するレポート情報を、予め設定された特定の電

10

20

30

40

50

子メールアドレスに電子メールにより送信するので、不特定相手に関するレポート情報を電子メールを利用する通信回線の管理者等の特定の電子メールアドレスに電子メールにより送信することができ、ファクシミリ装置及びファクシミリ装置の接続された通信回線の管理を効率的に行うことができる。

【0018】また、例えば、請求項5に記載するように、前記ファクシミリ装置は、予め設定された特定の電子メールアドレスを記憶するパーソナル情報記憶手段と、少なくとも各種レポートを記録紙に記録出力する記録手段と、をさらに備え、前記電子メール通信手段は、前記通信制御手段を介して送信ファイルを含んだ電子メールによる送信依頼要求を受け付け、前記レポート作成手段は、複数の送信予約あるいは複数の送信結果等を含む通信管理レポート等の不特定相手に関するレポート情報を作成するとともに、前記電子メール通信手段により前記送信依頼を前記電子メールにより受け付けた場合には、当該送信依頼元の前記電子メールアドレスをも組み込んで前記レポート情報を作成し、前記制御手段は、前記レポート作成手段の作成した前記通信管理レポート等の不特定相手に対するレポート情報を、前記電子メール通信手段に前記パーソナル情報記憶手段の前記特定の電子メールアドレスに電子メールにより送信させ、あるいは、前記記録手段により記録出力させるものであってもよい。

【0019】上記構成によれば、送信ファイルを含んだ電子メールによる送信依頼要求を受け付けた場合には、複数の送信予約あるいは複数の送信結果等を記録する通信管理レポート等の不特定相手に関するレポート情報に、当該送信依頼元の電子メールアドレスをも組み込んでレポート情報を作成し、作成したレポート情報を、予め設定された特定の電子メールアドレスに電子メールにより送信し、あるいは、記録紙に記録出力するので、電子メールにより送信依頼されたものであるかどうかをレポート情報により確認できるようにすることができ、ファクシミリ装置をより一層適切に、かつ、効率的に管理することができる。

#### 【0020】

【発明の実施の形態】以下、本発明の好適な実施の形態を添付図面に基いて詳細に説明する。なお、以下に述べる実施の形態は、本発明の好適な実施の形態であるから、技術的に好ましい種々の限定が付されているが、本発明の範囲は、以下の説明において特に本発明を限定する旨の記載がない限り、これらの態様に限られるものではない。

【0021】図1～図10は、本発明のファクシミリ装置の一実施の形態を示す図である。図1は、本発明のファクシミリ装置の一実施の形態を適用したファクシミリ装置1及びファクシミリ装置1の接続されるLANのブロック構成図である。

【0022】図1において、ファクシミリ装置1は、LAN (Local Area Network) 20に接続されており、LAN 20 (他の通信回線) には、ファクシミリ装置1の他に、電子装置である複数のクライアント端末31、32、・・・及びサーバー端末33が接続されている。なお、LAN 20は、例えば、イーサネット (Ethernet) が利用されており、ファクシミリ装置1と他のクライアント端末31、32やサーバー端末33の接続される通信回線は、LAN 20に限るものではなく、所定の通信線、例えば、セントロニクスのパラレルケーブル等であってもよい。

【0023】ファクシミリ装置1は、ファクシミリ通信制御部2、ファイル管理部3、電子メール生成部4、電子メールアプリ制御部5、LAN通信制御部6、画情報データ蓄積メモリ7、読取制御部8、記録制御部9、操作制御部10、符号化・復号化部11、パーソナルID管理部12、通信情報管理部13及びレポートデータ生成部14等を備えており、これら各部は、バス15により接続されている。

【0024】ファクシミリ通信制御部2には、図示しないが回線 (通信回線)、例えば、公衆電話回線が接続され、ファクシミリ通信制御部2は、モデム、網制御部及び通信制御部等を備えて主制御部15の制御下で動作して、回線を介してのファクシミリの呼制御、ファクシミリ通信制御等の回線を介してファクシミリ通信を行うのに必要な通信処理を行う。

【0025】画情報データ蓄積メモリ7は、例えば、ハードディスクあるいはRAM等で構成され、送信依頼された送信ファイルの画情報やファクシミリ通信制御部2を介して受信した受信ファイルの画情報等を記憶する。

【0026】ファイル管理部3は、主制御部15の制御下で動作して、送・受信ファイルの管理、特に、画情報データ蓄積メモリ7に蓄積されている送信ファイルや受信ファイルを管理テーブルに基づいて管理する。すなわち、ファイル管理部3は、図2に示すようなファイル管理テーブルを備えており、ファイル管理テーブルには、例えば、図2に示すように、ファイル番号、ファイル種別、相手先番号 (相手先ファクシミリ番号)、ページ数、パーソナルID、メール宛先等の各種管理項目が設けられている。ここで、メール宛先は、LAN 20を利用した電子メールのメールアドレスであり、パーソナルIDについては、後述する。

【0027】電子メール生成部4は、主制御部15の制御下で動作して、テキストデータにより作成されたレポートデータをLAN 20側に送信する電子メールを作成する。

【0028】電子メールアプリ制御部 (電子メール通信手段) 5は、LAN 20のプロトコル上で動作する電子メールアプリケーションを備えており、主制御部15の制御下で、当該電子メールアプリケーション処理を行っ

て、LAN20を介しての電子メールの交換・制御を行う。

【0029】LAN通信制御部（通信制御手段）6は、LAN20がイーサネットが利用されているときには、イーサネットドライバ制御、TCP/IP制御等を行って、ファクシミリ装置1をLAN20上の1クライアントとして動作させる。LAN通信制御部6は、LAN2を介してLAN20に接続されたクライアント31、32及びサーバー33との間で各種データ、特に、送信結果情報及び送信予約情報等の管理情報やコマンドの授受を行う。

【0030】読取制御部8は、図示しない読取装置、例えば、スキャナ装置の駆動制御を主制御部15の制御下で行って、読取装置にセットされた原稿の画像を読取装置に読み取らせる。

【0031】記録制御部9は、図示しない記録装置、例えば、電子写真式記録装置の駆動制御を主制御部15の制御下で行って、通信管理レポート、予約レポート及び送信結果レポート等のレポートや受信ファイルの画情報、あるいは、読取装置で読み取った原稿の画情報を記録紙に記録出力させる。

【0032】操作制御部10は、主制御部15の制御下で、図示しない操作表示部（操作手段）のキー操作を監視し、また、操作表示部に設けられているディスプレイへの各種情報の表示制御を行う。特に、操作表示部からは、電子メールアドレスや後述するパーソナルIDの入力操作等が行われる。

【0033】符号化・復号化部11は、画情報の画情報データ蓄積メモリ7への蓄積の効率化及び伝送時間の短縮化を図るためのものであり、所定の符号化方式に従って画情報を符号化し、また、符号化された画情報を復号化する。

【0034】パーソナルID管理部（パーソナル情報記憶手段）12は、ファクシミリ装置1を利用するオペレータに予め付与されたパーソナルID（パーソナルコード）を管理するもので、図3に示すようなパーソナルID登録テーブルに基づいてパーソナルIDを管理する。すなわち、パーソナルID登録テーブルには、パーソナルID、パーソナル名称及び電子メールアドレスのテーブル項目が設定されており、パーソナルID管理部12は、操作表示部からパーソナルID、パーソナル名称及び電子メールアドレスが入力されると、当該入力されたパーソナルID、パーソナル名称及び電子メールアドレスをパーソナルID登録テーブルに登録して、後述する管理情報の電子メール送信処理に利用する。

【0035】通信情報管理部（通信管理情報記憶手段）13は、主制御部15の制御下で動作して、送・受信された送信ファイルや受信ファイルの送信管理情報、送信依頼を受けた場合の送信予約管理情報及びその他の管理情報、例えば、受信管理情報等を記憶する。

【0036】レポートデータ生成部（レポート作成手段）14は、主制御部15の制御下で動作して、ファイル管理部3や通信情報管理部13から送信ファイルの予約結果、送信結果等の各種通信管理情報を受け取って、予約レポートや送信結果レポート等のテキストファイルとして作成する。

【0037】主制御部（制御手段）15は、CPU（Central Processing Unit）、ROM（Read Only Memory）およびRAM（Random Access Memory）等を備えており、ROM内にはファクシミリ装置1としての基本プログラムや後述する管理情報管理処理プログラム等が格納されている。主制御部15は、ROM内のプログラムに従ってファクシミリ装置1の各部を制御して、ファクシミリ装置1としてのシーケンスを実行するとともに、後述する管理情報管理処理を実行する。

【0038】クライアント端末31、32及びサーバー端末33は、LAN20を介して通信を行うための通信管理アプリケーションソフト（通信管理ソフト）がインストールされている。

【0039】次に、本実施の形態の動作を説明する。本実施例のファクシミリ装置1は、ファクシミリ装置1と複数のクライアント端末31、32及びサーバー端末33とがLAN20で接続されており、ファクシミリ装置1自体で操作を行ってファクシミリ送信をファクシミリ装置1に依頼したり、LAN20に接続されたクライアント端末31、32やサーバー端末33から送信依頼すると、その予約レポートや送信依頼された送信ファイルの送信結果レポートをLAN20を介して送信依頼してきた端末31～33に電子メールにより送信するところにその特徴がある。

【0040】以下、この通信管理情報管理処理について、図4～図6に示すフローチャートに基づいて説明する。

【0041】ファクシミリ装置1の主制御部15は、図4に示すように、ファクシミリ装置1の読取装置に原稿がセットされ、ファクシミリ装置1の操作表示部から送信操作が行われると、操作表示部からパーソナルIDが指定されたかどうかチェックする（ステップS1）。すなわち、オペレータは、ファクシミリ装置1の読取装置に送信原稿をセットし、ファクシミリ装置1の操作表示部から送信相手先のファクシミリ番号や送信モード等の送信に必要な送信操作を行うが、この場合、操作表示部からパーソナルIDを入力することにより、パーソナルIDの指定を行う。例えば、いま、図3に示したパーソナルIDが「2222」のオペレータがファクシミリ装置1から送信依頼するものとする、オペレータは、操作表示部からパーソナルIDとして「2222」を入力操作する。ステップS1で、操作表示部からパーソナルIDが指定されると、主制御部15は、対応する電子メールアドレスがパーソナルID管理部12のパーソナル



ＩＤ登録テーブル（図３参照）に登録されているかどうかチェックする（ステップＳ２）。

【００４２】ステップＳ２で、パーソナルＩＤがパーソナルＩＤ管理部１２のパーソナルＩＤ登録テーブルに登録されていると、主制御部１５は、登録されている電子メールアドレスをファイル管理部３のファイル管理テーブルに登録（セット）し（ステップＳ３）、読取制御部８を介して読取装置を駆動させて、セットされている送信原稿の読み取りを行う。主制御部１５は、読取装置の読み取った送信原稿の画情報を符号化・復号化部１１に転送して、符号化・復号化部１１により符号化させた後、送信ファイルの画情報として画情報データ蓄積メモリ７に蓄積させ、ファイル管理部３に、図２に示したファイル管理テーブルに必要な管理情報を登録する（ステップＳ４）。このファイル管理テーブルには、例えば、図２のファイル番号「０００１」に示すように、ファイル種別、相手先番号（送信相手先ファクシミリ番号）、送信原稿のページ数、パーソナルＩＤ及びメール宛先等がセットされる。このファイル管理テーブルにパーソナルＩＤが登録されるのは、上記ステップＳ１でパーソナルＩＤの指定があり、当該指定されたパーソナルＩＤが、パーソナルＩＤ管理部１２のパーソナルＩＤ登録テーブルに登録されている場合であり、また、上記ステップＳ２で、指定されたパーソナルＩＤに対応してパーソナル管理部１２のパーソナルＩＤ登録テーブルに電子メールアドレスが登録されていると、このファイル管理テーブルのメール宛先に当該登録されている電子メールアドレスが登録される。

【００４３】一方、ステップＳ１でパーソナルＩＤの指定があり、ステップＳ２で、当該指定されたパーソナルＩＤに対応して電子メールアドレスが登録されていないとき、あるいは、ステップＳ１で、パーソナルＩＤの指定がないときには、主制御部１５は、管理者用電子メールアドレスがパーソナルＩＤ管理部１２のパーソナルＩＤ登録テーブルに登録されているかチェックし（ステップＳ５）、管理者用電子メールアドレスが登録されていると、登録されている管理者用電子メールアドレスをファイル管理部３のファイル管理テーブルに登録し（ステップＳ６）、上記同様に、読取制御部８により送信原稿の読み取りを行って、読み取った送信原稿の画情報を符号化・復号化部１１で符号化させた後、送信ファイルの画情報として画情報データ蓄積メモリ７に蓄積させる（ステップＳ４）。この場合、主制御部１５は、図２に示したファイル管理部３のファイル管理テーブルに必要な管理情報を登録するが、管理者用電子メールアドレスが登録されているときには、メール宛先に、管理者用電子メールアドレスを登録する。

【００４４】また、上記ステップＳ５で、管理者用電子メールアドレスが登録されていないときには、主制御部１５は、電子メールアドレスのファイル管理部３のファ

イル管理テーブルへの登録を行わずに（ステップＳ７）、上記同様に、読取制御部８により送信原稿の読み取りを行って、読み取った送信原稿の画情報を符号化・復号化部１１で符号化させた後、送信ファイルの画情報として画情報データ蓄積メモリ７に蓄積させる（ステップＳ４）。この場合、主制御部１５は、図２に示したファイル管理部３のファイル管理テーブルに必要な管理情報を登録するが、このときには、メール宛先には、何も登録しない。

【００４５】主制御部１５は、次に、図５に示すように、予約レポート出力の設定状態をチェックし（ステップＳ８）、予約レポート出力が設定されていると、レポート判断処理を行う（ステップＳ９）。

【００４６】すなわち、ファクシミリ装置１は、送信予約を行った際に、当該送信予約の予約結果を出力するかどうかの設定を操作表示部の操作により、あるいは、ＬＡＮ２０に接続されたクライアント端末３１、３２あるいはサーバー端末３３から所定のコマンドをファクシミリ装置１に送信することにより、行うことができ、この予約レポート出力の設定状態を、上記ステップＳ８でチェックしている。

【００４７】ステップＳ８で、予約レポート出力が設定されていると、主制御部１５は、レポート判断処理を行うが、このレポート判断処理においては、主制御部１５は、図６に示すように、送信ファイルに電子メールアドレスが設定されているか、すなわち、上記送信予約を受け付けた送信ファイルの管理ファイルであるファイル管理テーブルのメール宛先に送信依頼してきたオペレータの電子メールアドレスあるいは管理者用電子メールアドレスが登録されているかチェックする（ステップＳ２１）。

【００４８】ステップＳ２１で、ファイル管理部３のファイル管理テーブルのメール宛先に電子メールアドレスが登録されているときには、主制御部１５は、レポートデータ作成部１４に通信情報管理部１３の管理している通信管理情報及びファイル管理部３のファイル管理テーブルの内容から必要な予約レポートのテキストデータを作成し、当該レポートデータ作成部１４の作成したテキストデータによる予約レポートを電子メール作成部４により予め設定された予約レポートの電子メールアドレスを作成して、電子メールアプリ制御部５の制御下で、当該作成した予約レポートを、上記登録されている電子メールアドレス宛にＬＡＮ通信制御部６を介して電子メール送信させる（ステップＳ２２）。この予約レポートは、例えば、図７に示すようなもので、電子メール送信年月日（Date）、電子メール送信者（From）、電子メール送信先（To）、電子メール内容（Subject）及びファイル予約レポートの内容として、予約受付年月日、予約者、送信先及び原稿枚数等を含んでいる。

【0049】図6のステップS21で、ファイル管理部3のファイル管理テーブルのメール宛先に電子メールアドレスが登録されていないときには、主制御部15は、レポートデータ作成部14に通信情報管理部13の管理している通信管理情報及びファイル管理部3のファイル管理テーブルの内容から必要な予約レポートのテキストデータを作成し、当該レポートデータ作成部14の作成したテキストデータによる予約レポートを記録制御部9に転送して、記録制御部9の制御下で、図示しない記録装置により記録紙に当該作成した予約レポートを記録出力させる(ステップS23)。

【0050】再び、図5に戻って、主制御部15は、レポート判断処理を行うと、あるいは、ステップS8で予約レポート出力が設定されていないときには、所定の送信時期に画情報データ蓄積メモリ7に蓄積されている上記送信ファイルの画情報を読み出して、ファイル管理部3のファイル管理テーブルに基づいて、ファクシミリ通信制御部2を介して送信処理を行い、当該送信処理の結果を通信情報管理部13に登録する(ステップS10)。そして、主制御部15は、上記送信処理を行うと、通信結果レポート出力の設定状態をチェックし(ステップS11)、通信結果レポート(送信結果レポート)の出力が設定されていると、レポート判断処理を行う(ステップS12)。

【0051】すなわち、ファクシミリ装置1は、ファクシミリ送信を行った際に、当該ファクシミリ送信の結果を出力するかどうかの設定を操作表示部の操作により、あるいは、LAN20に接続されたクライアント端末31、32あるいはサーバー端末33から所定のコマンドをファクシミリ装置1に送信することにより、行うことができ、この送信結果レポート出力の設定状態を、上記ステップS11でチェックしている。

【0052】ステップS11で、送信結果レポート出力が設定されていると、主制御部15は、通信結果レポート判断処理を行うが、このレポート判断処理は、上記図6に示したレポート判断処理と同様であり、送信ファイルに電子メールのアドレスが設定されているときには、電子メールにより送信結果レポートを当該登録されている電子メールアドレスに送信し、電子メールのアドレスが設定されていないときには、記録制御部9を介して記録装置により記録しに送信結果レポートを記録出力する。この場合に電子メールにより送信される送信結果レポートは、例えば、図8に示すようなものであり、電子メール送信年月日(Date)、電子メール送信者(From)、電子メール送信先(To)、電子メール内容(Subject)及び送信結果レポート(通信結果レポート)の内容として、送信年月日、送信依頼者、送信先、送信結果及び原稿枚数等を含んでいる。

【0053】ステップS11で、送信結果レポート出力が設定されていないときには、主制御部15は、送信結

果レポートの出力を行うことなく、処理を終了する。

【0054】また、ファクシミリ装置1には、LAN20に接続された他の端末、例えば、クライアント端末31、32あるいはサーバー端末33等から電子メールにより送信原稿の画情報を送信してファクシミリ送信の依頼を行うことができる。この場合、オペレータは、LAN20に接続された他の端末、例えば、クライアント端末31で、テキストデータにより送信原稿を作成し、作成した送信原稿のテキストファイルを電子メールによりファクシミリ装置1に送信する。この電子メールによるテキストファイルの送信方法は、既知の技術であり、その詳細は、省略するが、このテキストファイルをファクシミリ用の画情報として送信依頼する際には、電子メールのSubjectに送信したい相手先の電話番号(ファクシミリ番号)等を指定して電子メール送信する。例えば、いま、電子メールアドレスが、「jiro@host.co.jp」であるクライアント端末(例えば、クライアント端末32)から、電話番号が、「11112222」の相手先にファクシミリ送信をファクシミリ装置1に対して電子メールにより依頼する場合、電子メールの内容は、図9に示すような内容となる。すなわち、ファクシミリ送信を依頼する電子メールは、図9に示すように、電子メール送信年月日(Date)、電子メール送信者(From)、電子メール送信先(To)、電子メール内容(Subject)及びファクシミリ原稿の内容を含んでおり、Subjectに、ファクシミリ原稿の送信先の電話番号「11112222」が設定されている。

【0055】ファクシミリ装置1は、図4に示したように、LAN20に接続されたクライアント端末31、32あるいはサーバー端末33から電子メールによりファクシミリ送信の依頼を受けると、電子メールがファクシミリ送信の依頼であることを電子メールアプリ制御部5が認識し、主制御部15が電子メールアプリ制御部5の認識結果に応じて、ファイル管理部3のファイル管理テーブルへの管理情報の登録を行う。すなわち、電子メールアプリ制御部5は、送信されてきた電子メールのSubjectに電話番号が設定されていると、ファクシミリ送信依頼であると認識し、当該Subjectに設定されている電話番号や依頼元の電子メールアドレス等を取得する。主制御部15は、電子メールアプリ制御部5の認識結果に基づいて、例えば、図2のファイル番号「0002」に示すように、ファイル管理部3のファイル管理テーブルに必要な管理情報をセットするとともに、取得した電子メールアドレス及び電話番号をそれぞれメール宛先及び相手先番号にセットする(ステップS3)。

【0056】主制御部15は、電子メールアプリ制御部5からファクシミリ原稿の画情報であるテキストデータを受け取って、符号化・復号化部11に転送して、符号

化・復号化部 11 により符号化させた後、送信ファイルの画情報として画情報データ蓄積メモリ 7 に蓄積させ、上記ファイル管理部 3 に、図 2 のファイル番号「0002」に示すようなファイル管理テーブルに必要な管理情報を登録する（ステップ S 4）。

【0057】主制御部 15 は、次に、図 5 に示したように、予約レポート出力の設定状態をチェックし（ステップ S 8）、予約レポート出力が設定されていると、上記同様に、レポート判断処理を行う（ステップ S 9）。このレポート判断処理においては、電子メールアドレスが設定されているので、ファクシミリ装置 1 は、図 7 に示したような電子メールによる予約レポートを、当該登録されている電子メールアドレス宛に LAN 通信制御部 6 を介して電子メールにより送信させる（ステップ S 21、S 22）。

【0058】そして、主制御部 15 は、レポート判断処理を行うと、あるいは、ステップ S 8 で予約レポート出力が設定されていないときには、上記同様に、所定の送信時期に画情報データ蓄積メモリ 7 に蓄積されている上記送信ファイルの画情報を読み出して、ファイル管理部 3 のファイル管理テーブルに基づいて、ファクシミリ通信制御部 2 を介して送信処理を行い、当該送信処理の結果を通信情報管理部 13 に登録する（ステップ S 10）。そして、主制御部 15 は、上記送信処理を行うと、送信結果レポート出力の設定状態をチェックし（ステップ S 11）、送信結果レポートの出力が設定されていると、レポート判断処理を行う（ステップ S 12）。

【0059】このレポート判断処理においても、電子メールアドレスが設定されているので、ファクシミリ装置 1 は、図 8 に示したような電子メールによる送信結果レポートを当該登録されている電子メールアドレス宛に LAN 通信制御部 6 を介して電子メールにより送信させる（ステップ S 21、S 22）。

【0060】ステップ S 11 で、送信結果レポート出力が設定されていないときには、主制御部 15 は、送信結果レポートの出力を行うことなく、処理を終了する。

【0061】また、ファクシミリ装置 1 は、ファクシミリ通信を行う毎にその通信管理情報を取得して、通信情報管理部 13 に蓄積し、上記各通信毎に通信管理レポート（予約レポート及び送信結果レポート）の出力を行うだけでなく、所定期間の通信結果をまとめて記録制御部 9 を介して記録紙に、通信管理レポートとして記録出力し、また、パーソナル ID 管理部 12 のパーソナル ID 登録テーブルに登録されている管理者の電子メールアドレスに電子メールにより送信するが、この通信管理レポートには、LAN 20 に接続されたクライアント端末 31、32、サーバー端末 33 から電子メールにより送信依頼された送信ファイルの通信管理情報については、図 10 に示すように、電子メールアドレスを同時に記録出力する。このように電子メールにより送信依頼された送

信ファイルの通信管理情報については、通信管理レポートに電子メールアドレスを同時に記録出力するので、当該通信管理レポートを見ることにより、ファクシミリ装置 1 から送信依頼された送信ファイルと電子メールにより送信依頼されたものとを区別することができ、通信管理レポートの利用性を向上させることができる。

【0062】このように、本実施の形態によれば、送信依頼が行われると、入力された電子メールアドレスを取得し、送信予約レポート情報及び送信結果レポート情報を作成すると、当該送信予約レポート情報及び送信結果レポート情報を取得した電子メールアドレスに電子メールにより送信することができ、送信依頼を行った送信原稿が、適切に受け付けられたのか、また、適切に送信されたかを電子メールで送信されてくる送信予約レポートや送信結果レポートにより確認することができ、わざわざファクシミリ装置 1 のところまで確認しに行く必要がなく、記録紙に記録されたレポートを紛失するおそれもなく、資源を節約しつつ、ファクシミリ装置 1 の利用性を向上させることができる。

【0063】また、ファクシミリ装置 1 の利用者毎に割り当てられたパーソナルコードであるパーソナル ID と電子メールアドレスを対応させてパーソナル ID 管理部 12 に記憶し、送信依頼時に当該パーソナルコードが入力指定されると、当該入力指定されたパーソナルコードに基づいて電子メールアドレスを取得し、当該取得した電子メールアドレスに送信予約レポート情報及び送信結果レポート情報を電子メールにより送信することができ、送信依頼時の電子メールアドレスの入力操作を簡単なものとしてすることができ、ファクシミリ装置 1 の利用性をより一層向上させることができる。

【0064】さらに、送信ファイルを含んだ電子メールによる送信依頼要求を受け付け、電子メールによる送信依頼要求を受け付けると、当該電子メールの送信元の電子メールアドレスを取得し、当該取得した電子メールアドレスに送信予約レポート情報及び送信結果レポート情報を電子メールにより送信するので、電子メールによるファクシミリ送信依頼を可能とするとともに、送信予約レポート及び送信結果レポートを当該送信依頼元の電子メールアドレスに電子メールにより送信し、ファクシミリ装置 1 の設置されている場所まで出向くことなく、電子メールにより送信依頼や当該送信依頼の受付状況及び送信結果を確認することができ、記録紙に記録されたレポートを紛失するおそれもなく、資源を節約しつつ、ファクシミリ装置 1 の利用性をより一層向上させることができる。

【0065】また、複数の送信予約あるいは複数の送信結果等を含む通信管理レポート等の不特定相手に関するレポート情報を、予め設定された特定の電子メールアドレスに電子メールにより送信するので、不特定相手に関するレポート情報を電子メールを利用する通信回線の管

理者等の特定の電子メールアドレスに電子メールにより送信することができ、ファクシミリ装置 1 及びファクシミリ装置 1 の接続された通信回線である LAN 20 の管理を効率的に行うことができる。

【0066】以上、本発明者によってなされた発明を好適な実施の形態に基づき具体的に説明したが、本発明は上記のものに限定されるものではなく、その要旨を逸脱しない範囲で種々変更可能であることはいうまでもない。

【0067】上記実施の形態においては、予約レポート及び送信結果レポートのみを電子メールによりクライアント端末 31、32、サーバー端末 33 に送信しているが、画像データ等をも送信するようにしてもよい。

【0068】

【発明の効果】請求項 1 記載の発明のファクシミリ装置によれば、送信依頼が行われると、入力された電子メールアドレスを取得し、送信予約レポート情報及び送信結果レポート情報を作成すると、当該送信予約レポート情報及び送信結果レポート情報を取得した電子メールアドレスに電子メールにより送信するので、送信依頼を行った送信原稿が、適切に受け付けられたのか、また、適切に送信されたかを電子メールで送信されてくる送信予約レポートや送信結果レポートにより確認することができ、わざわざファクシミリ装置のところまで確認しに行く必要がなく、記録紙に記録されたレポートを紛失するおそれもなく、資源を節約しつつ、ファクシミリ装置の利用性を向上させることができる。

【0069】請求項 2 記載の発明のファクシミリ装置によれば、ファクシミリ装置の利用者毎に割り当てられたパーソナルコードと電子メールアドレスを対応させて記憶し、送信依頼時に当該パーソナルコードが入力指定されると、当該入力指定されたパーソナルコードに基づいて電子メールアドレスを取得し、当該取得した電子メールアドレスに送信予約レポート情報及び送信結果レポート情報を電子メールにより送信するので、送信依頼時の電子メールアドレスの入力操作を簡単なものとすることができるとともに、送信依頼を行った送信原稿が、適切に受け付けられたのか、また、適切に送信されたかを電子メールで送信されてくる送信予約レポートや送信結果レポートにより確認することができ、わざわざファクシミリ装置のところまで確認しに行く必要がなく、記録紙に記録されたレポートを紛失するおそれもなく、資源を節約しつつ、ファクシミリ装置の利用性をより一層向上させることができる。

【0070】請求項 3 記載の発明のファクシミリ装置によれば、送信ファイルを含んだ電子メールによる送信依頼要求を受け付け、電子メールによる送信依頼要求を受け付けると、当該電子メールの送信元の電子メールアドレスを取得し、当該取得した電子メールアドレスに送信予約レポート情報及び送信結果レポート情報を電子メール

ルにより送信するので、電子メールによるファクシミリ送信依頼を可能とするとともに、送信予約レポート及び送信結果レポートを当該送信依頼元の電子メールアドレスに電子メールにより送信し、ファクシミリ装置の設置されている場所まで出向くことなく、電子メールにより送信依頼や当該送信依頼の受付状況及び送信結果を確認することができ、記録紙に記録されたレポートを紛失するおそれもなく、資源を節約しつつ、ファクシミリ装置の利用性をより一層向上させることができる。

10 【0071】請求項 4 記載の発明のファクシミリ装置によれば、複数の送信予約あるいは複数の送信結果等を含む通信管理レポート等の不特定相手に関するレポート情報を、予め設定された特定の電子メールアドレスに電子メールにより送信するので、不特定相手に関するレポート情報を電子メールを利用する通信回線の管理者等の特定の電子メールアドレスに電子メールにより送信することができ、ファクシミリ装置及びファクシミリ装置の接続された通信回線の管理を効率的に行うことができる。

20 【0072】請求項 5 記載の発明のファクシミリ装置によれば、送信ファイルを含んだ電子メールによる送信依頼要求を受け付けた場合には、複数の送信予約あるいは複数の送信結果等を記録する通信管理レポート等の不特定相手に関するレポート情報に、当該送信依頼元の電子メールアドレスをも組み込んでレポート情報を作成し、作成したレポート情報を、予め設定された特定の電子メールアドレスに電子メールにより送信し、あるいは、記録紙に記録出力するので、電子メールにより送信依頼されたものであるかどうかをレポート情報により確認できるようにすることができ、ファクシミリ装置をより一層適切に、かつ、効率的に管理することができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】本発明のファクシミリ装置の一実施の形態を適用したファクシミリ装置及びファクシミリ装置の接続されている LAN のシステム構成図。

【図 2】図 1 のファクシミリ装置のファイル管理部のファイル管理テーブルの一例を示す図。

【図 3】図 1 のファクシミリ装置のパーソナル ID 管理部のパーソナル ID 登録テーブルの一例を示す図。

40 【図 4】図 1 のファクシミリ装置による通信管理情報管理処理を示すフローチャート。

【図 5】図 4 の通信管理情報管理処理の続きの処理を示すフローチャート。

【図 6】図 5 のレポート判断処理の詳細な処理を示すフローチャート。

【図 7】電子メールによる予約レポートの一例を示す図。

【図 8】電子メールによる送信結果レポートの一例を示す図。

50 【図 9】ファイル送信依頼の電子メールの一例を示す図。

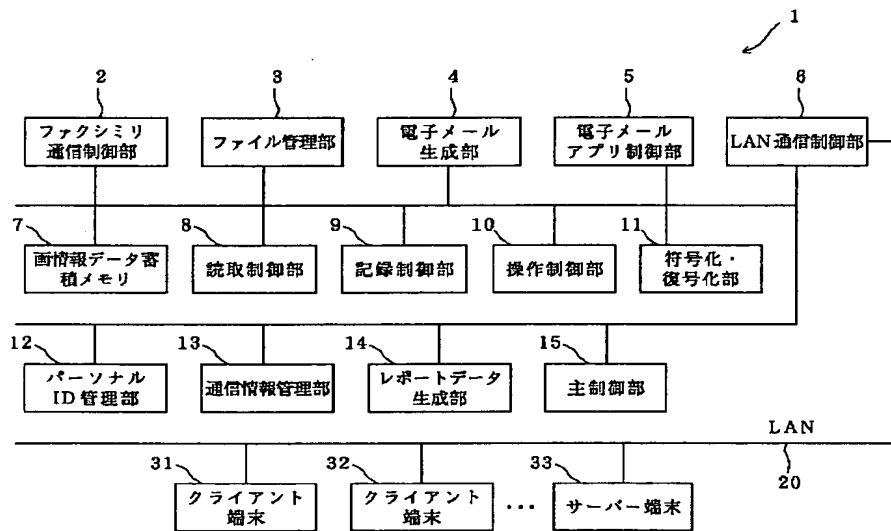
【図10】記録紙に記録出力される通信管理レポートの一例を示す図。

【符号の説明】

- 1 ファクシミリ装置
- 2 ファクシミリ通信制御部
- 3 ファイル管理部
- 4 電子メール生成部
- 5 電子メールアプリ制御部
- 6 LAN通信制御部
- 7 面情報データ蓄積メモリ
- 8 読取制御部

- 9 記録制御部
- 10 操作制御部
- 11 符号化・復号化部
- 12 パーソナルID管理部
- 13 通信情報管理部
- 14 レポートデータ生成部
- 15 バス
- 20 LAN
- 31、32 クライアント端末
- 10 33 サーバ端末

【図1】



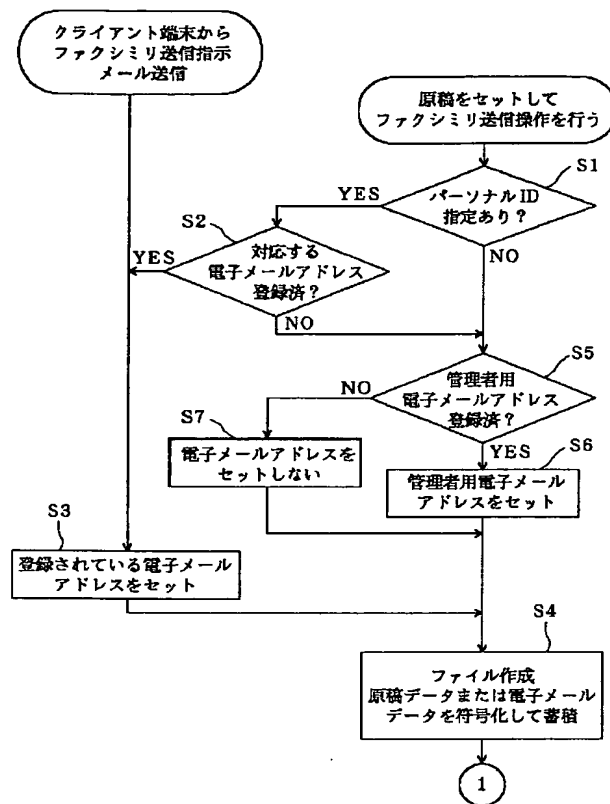
【図2】

ファイル番号	0001	0002	0003	:
ファイル種別	メモリ送信	メモリ送信 (メール指定)	通信管理レポート	
相手先番号	12345678	11112222	---	
ページ数	2	1	---	
パーソナルID	2222	無し	---	
メール宛先	taro@host.co.jp	jiro@host.co.jp	admin@host.co.jp	
:				

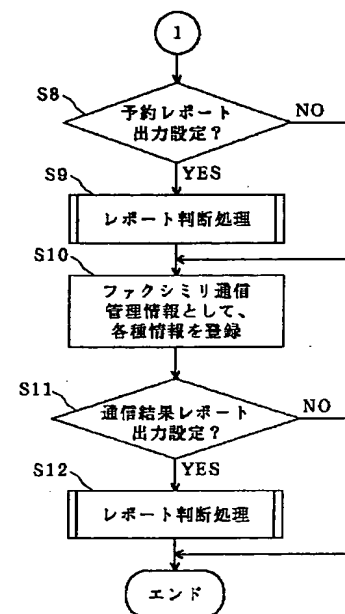
【図3】

パーソナルID	パーソナルID	電子メールアドレス
2222	特許 太郎	taro@host.co.jp
3333	---	abcd@host.co.jp
4444	---	efgh@host.co.jp
:		
無し	管理者	admin@host.co.jp

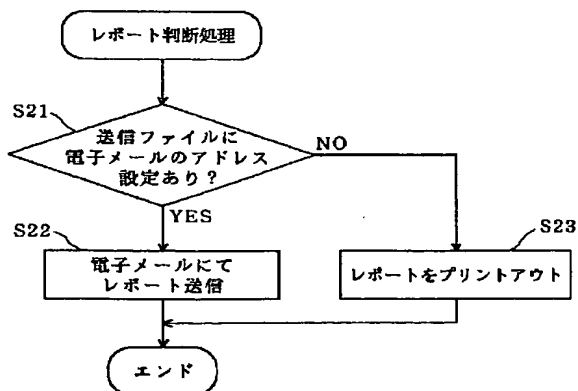
【図4】



【図5】



【図6】



【図7】

Date: Tue, 09 Jan 1996 18:10  
 From: fax@host.co.jp  
 To: taro@host.co.jp  
 Subject: ファイル予約レポート  
 -----

ファイル予約レポート (1996年 1月 9日18時10分)

ファイル	パーソナルコード	相手先	原稿枚数
0001	特許 太郎	12345678	2枚

【図8】

Date: Tue, 09 Jan 1996 18:10  
 From: fax@host.co.jp  
 To: taro@host.co.jp  
 Subject: 通信結果レポート  
 -----

通信結果レポート (1996年 1月 9日18時20分)

ファイル	パーソナルコード	相手先	結果	ページ
0001	特許 太郎	12345678	OK	2 / 2
			料金	10円

【図9】

Date: Tue, 09 Jan 1996 18:30  
 From: jiro@host.co.jp  
 To: fax@host.co.jp  
 Subject: send=11112222  
 -----

宛先: ○○ ○○機  
 発信元: △△ △△  
 内容: 会議開催通知

いつもお世話になっております。

以下の通り会議を開催しますので、御出席のほどお願い申し上げます。

日時: 1996年 1月15日 午後2時30分  
 場所: 本社 AB会議室  
 議題: 今年度の行事について

【図10】

通信管理レポート (1996年 1月 9日 20時10分)							
<送信>							
日時	相手先	通信モード	時間	枚数	結果	FILE	
1月9日 18時20分	12345678	メモリ送信	1分10秒	2枚	OK	0001	
18時20分	12345678	メモリ送信 (jiro@host.co.jp)	0分20秒	1枚	OK	0002	
:							
<受信>							
日時	相手先	通信モード	時間	枚数	結果	FILE	
1月9日 8時55分	99998888	G3受信	1分35秒	2枚	OK	0005	

フロントページの続き

(51) Int. Cl.<sup>6</sup>

識別記号

F I

H 0 4 M 11/00

3 0 3

H 0 4 N 1/00

1 0 6